

令和7年度下半期 福生病院企業団病院事業の業務状況

1 事業の概況

令和7年度下半期の業務状況は、入院患者数が61,192人(前年度比5.7%増)で、外来患者数が120,060人(前年度比3.3%減)となりました。収益的収入の主な収入である医業収益の決算額は5,584,101千円(前年度比3.5%増)、医業外収益の決算額は1,483,911千円(前年度比22.8%増)となり、収益的収入の予定額に対する執行率は87.8%でした。また、収益的支出の主な支出として、医業費用の決算額は8,418,146千円(前年度比1.1%増)となり、収益的支出の予定額に対する執行率は95.4%でした。資本的収入の主な収入として、企業債の決算額は607,400千円(前年度比32.3%増)、他会計補助金の決算額は177,711千円(前年度比2.0%増)、他会計負担金の決算額は186,705千円(前年度比2.0%増)となり、資本的収入の予定額に対する執行率は79.2%でした。また、資本的支出の主な支出として、建設改良費の決算額は608,267千円(前年度比29.2%増)、企業債償還金の決算額は899,569千円(前年度比1.9%減)となり、資本的支出の予定額に対する執行率は84.7%でした。

2 経理の状況

(1) 収益的収支の状況

単位:千円

収入				支出			
区分	予定額	決算額	執行率	区分	予定額	決算額	執行率
医業収益	6,650,839	5,584,101	84.0%	企業団管理費	31,512	30,614	97.2%
入院収益	4,367,736	3,646,207	83.5%	給与費 他	31,512	30,614	97.2%
外来収益	2,079,022	1,744,796	83.9%	医業費用	8,779,402	8,418,146	95.9%
その他医業収益	204,081	193,098	94.6%	給与費	4,734,509	4,511,373	95.3%
医業外収益	1,394,931	1,483,911	106.4%	材料費	1,497,905	1,455,736	97.2%
受取利息及び配当金	373	2,138	573.2%	経費	1,849,773	1,800,023	97.3%
他会計補助金	77,992	77,992	100.0%	減価償却費	604,814	578,492	95.6%
国庫補助金	104,283	94,158	90.3%	資産減耗費	61,315	59,830	97.6%
都補助金	380,508	436,170	114.6%	研究研修費	31,086	12,692	40.8%
他会計負担金	649,487	649,487	100.0%	医業外費用	295,828	238,477	80.6%
長期前受金戻入	122,713	163,097	132.9%	支払利息 他	295,828	238,477	80.6%
その他医業外収益	59,575	60,869	102.2%	特別損失	4	1,346	33650.0%
特別利益	3	0	0.0%	過年度損益修正損 他	4	1,346	33650.0%
過年度損益修正益 他	3	0	0.0%	予備費	1	0	0.0%
				予備費	1	0	0.0%
合計	8,045,773	7,068,012	87.8%	合計	9,106,747	8,688,583	95.4%

(2) 資本的収支の状況

単位:千円

収入				支出			
区分	予定額	決算額	執行率	区分	予定額	決算額	執行率
企業債	879,000	607,400	69.1%	建設改良費	879,587	608,267	69.2%
企業債	879,000	607,400	69.1%	建設改良費	383,570	129,042	33.6%
他会計補助金	177,711	177,711	100.0%	医療機器等購入費	496,017	479,225	96.6%
他会計補助金	177,711	177,711	100.0%	企業債償還金	899,570	899,569	100.0%
都補助金	54,458	55,261	101.5%	企業債償還金	899,570	899,569	100.0%
都補助金	54,458	55,261	101.5%	その他投資	589	448	76.1%
他会計負担金	186,705	186,705	100.0%	その他投資	589	448	76.1%
他会計負担金	186,705	186,705	100.0%				
固定資産売却収入	1	0	0.0%				
固定資産売却収入	1	0	0.0%				
その他投資返還金	144	309	214.6%				
その他投資返還金	144	309	214.6%				
合計	1,298,019	1,027,386	79.2%	合計	1,779,746	1,508,284	84.7%

令和8年度 福生病院企業団病院事業の予算の概要及び事業の経営方針

1 予算の概要

(1) 収益的収支の状況

単位:千円

収入				支出			
区分	令和8年度	令和7年度	比較	区分	令和8年度	令和7年度	比較
医業収益	6,883,624	6,650,839	232,785	企業団管理費	31,058	31,512	△ 454
入院収益	4,666,160	4,367,736	298,424	給与費 他	31,058	31,512	△ 454
外来収益	2,005,180	2,079,022	△ 73,842	医業費用	8,556,108	8,612,402	△ 56,294
その他医業収益	212,284	204,081	8,203	給与費	4,624,784	4,734,509	△ 109,725
医業外収益	1,252,849	1,284,022	△ 31,173	材料費	1,327,627	1,397,905	△ 70,278
受取利息及び配当金	3,359	373	2,986	経費	1,877,261	1,827,773	49,488
他会計補助金	77,863	77,992	△ 129	減価償却費	657,799	577,814	79,985
国庫補助金	3,500	2,143	1,357	資産減耗費	46,059	43,315	2,744
都補助金	351,259	380,508	△ 29,249	研究研修費	22,578	31,086	△ 8,508
他会計負担金	651,622	649,487	2,135	医業外費用	326,842	284,562	42,280
長期前受金戻入	118,996	122,713	△ 3,717	支払利息 他	326,842	284,562	42,280
その他医業外収益	46,250	50,806	△ 4,556	特別損失	4	4	0
特別利益	3	3	0	過年度損益修正損 他	4	4	0
過年度損益修正益 他	3	3	0	予備費	1	1	0
				予備費	1	1	0
合計	8,136,476	7,934,864	201,612	合計	8,914,013	8,928,481	△ 14,468

(2) 資本的収支の状況

単位:千円

収入				支出			
区分	令和8年度	令和7年度	比較	区分	令和8年度	令和7年度	比較
企業債	182,569	879,000	△ 696,431	建設改良費	186,169	879,587	△ 693,418
企業債	182,569	879,000	△ 696,431	建設改良費	105,970	383,570	△ 277,600
他会計補助金	181,350	177,711	3,639	医療機器等購入費	80,199	496,017	△ 415,818
他会計補助金	181,350	177,711	3,639	企業債償還金	1,017,401	899,570	117,831
都補助金	59,199	54,458	4,741	企業債償還金	1,017,401	899,570	117,831
都補助金	59,199	54,458	4,741	その他投資	567	589	△ 22
他会計負担金	485,456	186,705	298,751	その他投資	567	589	△ 22
他会計負担金	485,456	186,705	298,751				
固定資産売却収入	1	1	0				
固定資産売却収入	1	1	0				
その他投資返還金	66	144	△ 78				
その他投資返還金	66	144	△ 78				
合計	908,641	1,298,019	△ 389,378	合計	1,204,137	1,779,746	△ 575,609

2 事業の経営方針

当院は、地域のニーズに応え、生まれてからお亡くなりになるまでを安全・安心な医療によってサポートし、“地域医療と生活を支える面倒見の良い病院”として自立した病院経営を目指します。院内での多職種連携をさらに深め、タスクシェア・タスクシフトにより、仕事量の適正化を図り、院外では他の医療機関とのさらなる病病・病診連携を構築し、この西多摩地域の医療を支えていきたいと思ひます。また、小・中学校のがん教育や職場体験など地域住民の方への健康増進に寄与する活動にも力を入れていきます。

令和8年度の業務の予定量は、(1)病床数227床、(2)年間延患者数(入院73,000人・外来135,201人)、(3)一日平均患者数(入院200人・外来561人)、(4)主な建設改良事業(建設改良費105,970千円・医療機器等購入費80,199千円)です。

大変厳しい経営状況ではありますが、職員全体ならびに個々のできることに真摯に向き合い、最善最良の努力を惜しまず、地域住民のため適切な医療を提供していきます。